

# 報 道 発 表

平成 27 年 12 月 3 日  
財 務 省  
門 司 税 関

## 第 28 回「人事院総裁賞」を受賞します

— 門司税関 <sup>いづはら</sup> 厳原税関支署が職域部門で受賞 —

このたび、「門司税関 厳原税関支署」が、第 28 回「人事院総裁賞（職域部門）」を受賞することが決定しました。

近年、クルーズ船等により訪日する外国人旅客が急増する中、税関においては、入国旅客に対する迅速かつ適正な旅具通関を確保するとともに、不正薬物や銃砲等の社会悪物品等の密輸を阻止するため厳格な取締りを実施しています。

今回受賞した厳原税関支署は、国境の離島である「長崎県対馬」に設置された税関官署であり、同島においても入国旅客数は年間約 20 万人と急増しています。同支署職員は、限られた人員で島内の厳原港及び比田勝港において、急増する外国人旅客の旅具通関業務に従事するなど、離島の地において国民の安全・安心な社会を水際で守るため、日々業務を遂行しています。

加えて、同支署職員は、平成 26 年 11 月 24 日、盗難被害にあった市指定有形文化財である仏像等を出国時の手荷物検査で発見・摘発し、文化財の国外流出阻止にも大きく貢献しました。

こうした功績が認められ、今般、門司税関としては初めて人事院総裁賞を受賞することとなりました。なお、授与式（人事院主催）は 12 月 10 日（木）11 時 15 分から明治記念館（東京都港区元赤坂）にて行われ、式後受賞者（代表者）は天皇皇后両陛下の御接見を賜る予定です。

（添付資料）受賞理由詳細、現地写真・資料

◎受賞者

門司税関 厳原税関支署

【所在地】長崎県対馬市厳原町東里341-42 厳原地方合同庁舎

【代表者】厳原税関支署長 小林 満寿次 (こばやし ますじ)

(注) 人事院総裁賞は、多年にわたる不断の努力や国民生活の向上への顕著な功績等により、公務の信頼を高めることに寄与したと認められる職員(一般職の国家公務員)又は職域を顕彰するものです。(昭和63年創設、今回28回目)

受賞者は、各府省等から推薦された候補の中から、選考委員会が選考を行い、その結果に基づき人事院総裁が決定します。

(問い合わせ先)

財務省関税局管理課 課長補佐 水野(みずの)

(代表) 03(3581)4111(内線5562)

門司税関 総務部 税関広報広聴室長 永森(ながもり)

(直通) 050(3530)8333



【厳原港における旅具検査の状況】



【摘発された仏像及び経典】

**職域部門① 財務省 門司税関 厳原税関支署**  
 《国民の財産を守れ！国境の島で文化財の国外流出を阻止》

名称・所在地・代表者・沿革等	組織の概要等
財務省 門司税関 厳原税関支署  長崎県対馬市厳原町東里341-42  厳原税関支署長 <small>こばやし</small> 小林 <small>ますじ</small> 満寿次  沿革 明治16. 12 厳原長崎税関出張所を設置 明治30. 6 官制改革（厳原長崎税関支署に改称） 明治32. 8 関税法による開港指定（厳原港） （明治42. 11 門司税関を設置（長崎税関から分離独立）） 昭和18. 11 税関官制廃止（門司海運局長崎支局厳原出張所に統合） 昭和21. 6 税関官制公布（門司税関厳原税関支署として再開） 昭和24. 5 厳原税関支署比田勝監視署を設置	税関は、財務省の地方支分部局として全国を9つの地域に分けて管轄し、門司税関は、山口県全県と九州のうち、有明海に面する地域を除く福岡・佐賀の両県、大分・宮崎の全県と長崎県の壱岐・対馬という広範囲な地域を管轄している。  厳原税関支署は、明治16年12月に、厳原長崎税関出張所として設置され、明治30年に厳原長崎税関支署に改称された。 その後、昭和18年11月に門司海運局長崎支局厳原出張所に統合されるが、戦後、昭和21年6月、門司税関厳原税関支署として再開され、今日に至っている。  現在は、長崎県の対馬市及び壱岐市を管轄地域とし、1支署、1監視署の体制で同地域における旅具通関業務、監視取締業務、輸出入通関業務などの業務を担っている。

**顕彰理由**

厳原税関支署は、長崎県の対馬に設置されており、壱岐も含めた2つの離島を管轄している。近年、対馬は韓国人旅行者の人気渡航先となっており、同島の入国旅客数は年間約20万人（平成26年、海上旅客入国数は全国2位）と急増する中、職員は同支署の所在する厳原港と92km離れた比田勝港のそれぞれの港で旅具通関業務を行うなど、離島の地において、国民の安全・安心を水際で守るため、日々業務を遂行している。

平成26年11月24日には、外国人旅客が密輸出しようとした対馬市指定有形文化財（島内の寺院から盗難された仏像等）を、職員が出国時の手荷物検査で発見・摘発した。

## 理由詳細

- ・ 厳原税関支署は、明治16年（1883年）12月、「厳原長崎税関出張所」として設置され、以来、今日まで130有余年の歴史を有する税関官署であり、人事院規則9-55第1条に規定される特地官署である。

朝鮮半島から僅か50kmに位置する国境の島「長崎県対馬」に設置された同支署では、限られた職員で旅具通関業務のほか、監視取締り、輸出入通関業務など多岐にわたる税関業務に対応している。
- ・ 対馬は韓国人旅行者の人気渡航先であり、週27便の定期旅客船が韓国釜山港との間に就航している。（厳原港：週10便、比田勝港：週17便、平成27年11月現在）

平成26年の厳原港及び比田勝港の入国旅客数は、対馬市の人口（約32,700人）の約6.1倍となる198,793人（10年前の平成17年の約5.2倍）であり、海上入国旅客数では全国2位の税関官署となっている。
- ・ 同支署の所在する厳原港と比田勝港は、陸路で92km離れており、同支署職員は両港の旅具通関業務に対応するため、見通しの悪い区間や場所によっては離合もできない山岳道路を片道約2時間運転して移動し、比田勝港における旅具通関業務にあたっている。

特に、夏季においては、定期旅客船のスケジュールに対応するため、同支署職員は早朝から比田勝港に移動し、1日の勤務時間が12時間を超えることもあるなど、厳しい環境の中、日々職務を遂行している。

また、土・日曜日も含め、厳原港と比田勝港の両港で同時刻に定期旅客船が入港し、両港において旅具通関業務に対応する必要があるため、同支署においては、限られた職員で365日対応のシフト勤務体制を取り、日々、国民の安全・安心を水際で守ることに大きく貢献している。
- ・ 対馬周辺海域は、海上密輸・密航ルートとして懸念される要注意海域であり、同海域を管轄する厳原税関支署は、重要な役割を果たしている。

こうした状況にあって、同支署職員は、日頃から関係機関との連携を強化し、公務の内外を問わず地域的な信頼関係の醸成にも努めている。
- ・ なお、対馬市の寺院で市の指定有形文化財である仏像等の盗難事件が発生した際、同支署職員は、厳原港から出港する外国人旅客の手荷物検査において、的確な状況判断と重点検査の実施により、仏像1体及び経典316点を発見、摘発し（平成26年11月24日：関税法違反（無許可輸出））、国民の財産である文化財の保護及び国外への流出阻止に貢献した。

# 職域部門① 財務省 門司税関 厳原税関支署

## 1 定期旅客船運航状況

厳原 ⇄ 釜山 (132 km) 週10便

比田勝 ⇄ 釜山 (76 km) 週17便

合計 週27便



「ビートル」旅客定員 200 名



「KOBEE」旅客定員 200 名



「OCEAN FLOWER」旅客定員 445 名

## 2 旅具検査風景

### ● 新厳原港国際ターミナル旅具検査状況

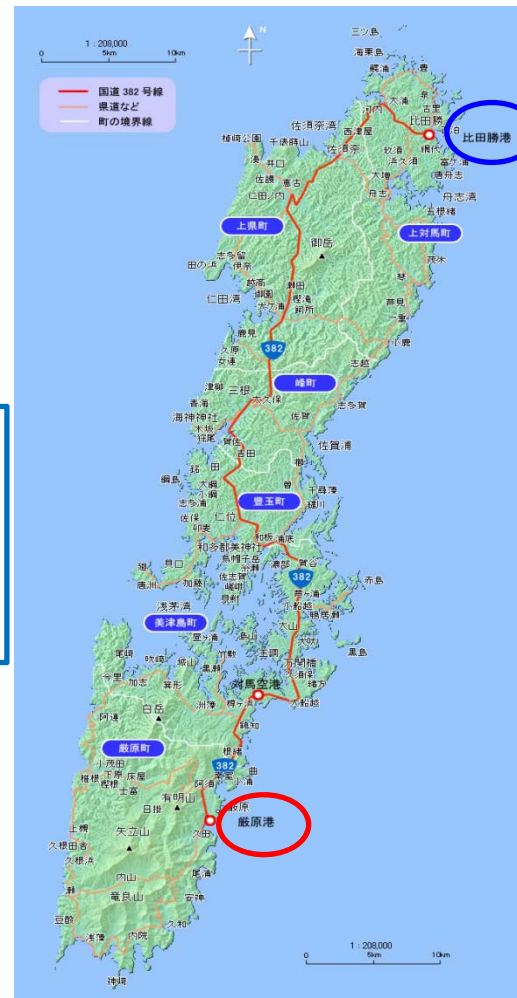


### ● 比田勝港国際ターミナル旅具検査状況



職員には  
韓国語等  
の会話能  
力が求め  
られる

- ・ 出入国者のほとんど（平成26年は約99%）が外国人旅客で日本語が通じない
- ・ 入国者の渡航目的は、韓国出国時の免税品購入、対馬観光、釣り、トレッキング、日本の菓子等食料品の購入等



厳原税関支署が所在する厳原港●と比田勝港●までは、陸路で92 km（車で約120分）の距離

### 3 入国者数の増加

#### ●入国者数推移

数値：法務省出入国管理統計より抜粋

	H17 (2005)	H18 (2006)	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)
厳原	24,020	28,204	41,368	49,112	32,140	41,833	28,604	75,048	79,099	77,036
比田勝	14,490	15,857	25,873	24,937	14,799	18,526	19,513	79,355	106,572	121,757
対馬空港	0	0	0	19	432	1,787	1,728	1,143	930	0
合計	38,510	44,061	67,241	74,068	47,371	62,146	49,845	155,546	186,601	198,793

→ 約5.2倍!

### 4 関係取締機関との連携

#### ●テロ対策合同訓練



門司税関厳原税関支署、長崎県対馬南警察署、対馬海上保安部等8機関による合同訓練

#### ●洋上訓練



門司税関厳原税関支署（監視艇）、長崎県警（警察用船舶）、対馬海上保安部（巡視船5艇、中型回転翼航空機）長崎県（漁業取締船）による合同訓練

### 5 近年における摘発功績

平成26年11月24日、出国しようとした外国人旅客の手荷物から税関職員が仏像1体、経典316点を摘発

#### ●摘発された「誕生仏」と「大般若経典」（いずれも対馬市指定有形文化財）

